


日本財団補助金による  
1997 年度財団法人日中医学協会助成報告書  
 - 学術交流に対する助成 -

年 月 日

財団法人 日中医学協会  
 理事長 中島章殿

報告者氏名 出月 康夫   
 所属機関名 埼玉医科大学総合医療センター  
 職 名 \_\_\_\_\_  
 所 在 地 〒350 川越市鴨田辻町1981  
 電話 0492-25-7811 内線 3240

◎添付書類：講演集・シンポジウム写真等学会に関する資料

学会・学術交流の名称 第4回 日中肝胆膵シンポジウム  
 テ ー マ 肝・胆・膵領域疾患の治療  
 主 催 団 体 北京军区总医院, 第三军医大学, 埼玉医大総合医療センター  
 代 表 者 贾克明, 劉美良, 出月康夫  
 期 間・開 催 地 1997年5月19日から21日 中国・重慶にて開催  
 招へい・派遣目的 上記シンポジウムにて、日本に於ける各種疾患の診断・治療の現状  
 について講演と対話と共に、中国側からの発表を聴く。その際、お互いに質疑を  
 行い、相互の医学交流を行うことである。

I. 招へい・派遣研究者 人数 5 人  
 1) 氏名(漢字) 与 芝 夏 英文名 Makoto Yoshida 男・女  
 所属機関、職名 昭和大学藤が丘病院, 助教 生年月日 \_\_\_\_\_  
 所在地 横浜市青草区藤が丘1-30  
 電話 045-971-1151 内線 \_\_\_\_\_  
 研究課題 肝不全治療の現状  
 (別紙参照)

II. 滞 在 期 間 自 1997 年 5 月 19 日 至 1997 年 5 月 22 日 (4 日間)

III. 助成金の使途内訳  
 助成金額 500,000 円  
 交通費 500,000 円 宿泊費 — 円 食 費 — 円  
 雑 費 — 円 他 — 円

(領収書の別紙にあり)  
 ・ 招聘・派遣研究者記入欄が不足の場合は別紙を添付して下さい。

氏名：下村一之 Kazuyuki Shimomura 男  
所属機関、職名：埼玉医科大学総合医療センター外科、講師  
1958年9月2日  
川越市鴨田辻道町1981  
TEL: 0492-25-7811 内線：3430  
研究課題：総胆管結石に対する非手術的治療に関する研究

氏名：石田秀行 Hideyuki Ishida 男  
所属機関、職名：埼玉医科大学総合医療センター外科、講師  
1958年11月19日  
川越市鴨田辻道町1981  
TEL: 0492-25-7811 内線：3430  
研究課題：転移性肝癌の治療

氏名：三浦健 Tuyoshi Miura 男  
所属機関、職名：埼玉医科大学総合医療センター、講師  
1930年8月2日  
川越市鴨田辻道町1981  
TEL: 0492-25-7811 内線：3430  
研究課題：肝癌の治療

氏名：村田宣夫 Nobuo Murata 男  
所属機関、職名：埼玉医科大学総合医療センター、助教授  
1949年8月25日  
川越市鴨田辻道町1981  
TEL: 0492-25-7811 内線：3430  
研究課題：肝癌の診断と治療

#### IV. 主な滞在日程

1997年 5月19日 重慶市第3軍医大学見学, 5月20日 会場の設営,  
夜, 歓迎式典.

5月20日 シンポジウム開会式. 31至つがき 特別講演, 一般  
講演を行つた.

5月21日 特別講演, 一般講演を行つた. 中国の肝臓  
日本, 中国の医師が互に発表し, 質疑応答  
を行う形式のものであった.

講演終了後 閉会式. 31至つがき 懇話会をもつた.

#### V. 学術交流報告

重慶の第3軍医大学では 肝臓下痢-肝不全の研究が  
盛んであるとのことであり, 特別講演は 日本から 昭和大学  
の牛芝真助教授に来ていただき, 日本での慢性肝臓  
治療の現状について講演していただいた. 中国側からも  
肝不全治療の現状の報告があり, 多数の聴衆から  
さすまざる質問, コメントが寄せられ, 学術交流を充分  
なした. もう一つの特別講演は 肝臓の手術治  
療に関するもので 肝移植に関するもので 日中両国  
の外科医師に深い感銘を与えた. 一般演題では  
肝・胆膵領域の疾患について 日中両国が口演発表  
を行つた. 会場をこやかに質疑応答がある中, 日中友好  
に大いに貢献したと思う.

